

韓国で口蹄疫継続発生中! 飼養衛生管理の徹底・防疫対策の強化

忠清南道 公州市、天安市の豚飼育農場で口蹄疫発生!!

2016年2月18日現在

韓国における口蹄疫の発生状況
(2016年1月以降)



- ◆口蹄疫が我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況です。
- ◆飼養衛生管理を徹底して、防疫対策を強化することが侵入防止の基本です。

■ 口蹄疫を疑う家畜の異状(39℃以上の発熱、多量のよだれ、口、蹄、乳房等に水ぶくれ等)に気付いた時には、家畜保健衛生所に連絡してください。

○2014年以降の韓国における口蹄疫の流行(O型)

- ・2014年7月～8月: 3件(豚3件)
慶尚北道(2件)、慶尚南道(1件)
 - ・2014年12月～2015年4月: 185件(牛5件、豚180件)
忠清南道(70件)、京畿道(56件)、忠清北道(36件)、江原道(11件)、慶尚北道(8件)、仁川広域市(2件)、世宗特別自治市(2件)
- ※最終発生日: 2015年4月28日(忠清南道洪城郡 牛)

◆ 口蹄疫等が発生している国への渡航は自粛。

- ◆ 仮に渡航する場合には、畜産関連施設には立入らない。肉製品は持ち帰らない。帰国の際は、動物検疫所で家畜防疫官の指導を受ける。帰国後1週間は農場等に立入らない。

- ◆ 農場への人や車両の出入りは必要最低限に。
- ◆ 出入り際には農場専用の衣服を着用し、厳重に消毒。
- ◆ 入場者の記録は、しっかりとつけること。

異状を発見したら、すぐに家畜保健衛生所へ連絡してください。
※平日時間外(午前8時30分～午後5時15分以外)や休日の電話に対しては、「電話交換業務が終了しています。」に続く、「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」の案内メッセージに従って対応をお願いします。



メッセージは、最後まで聞いてね!